

主要事例②: 尾道系崎港 高尾干潟

○尾道系崎港において、航路・泊地整備から発生する浚渫土砂を有効利用することにより、平成22年度から高尾地区で干潟造成を実施中。

干潟の整備により、生物生息機能・水質浄化機能及び生物生産機能の向上を目指している。

○人工干潟の規模: 19ha

○事業期間: 平成22～ 現在整備中

○整備内容: 築堤、浚渫土投入、覆砂

